

* 幸せを探すあなたへ

人生を破壊する甘い誘惑、淫乱



善良な人どころか... / 2008年、検察が明らかにした不条理な事件の中に、こういう事がありました。名門大を出て、インターネット同好会で出会ったチェ氏(31)とチョン氏(35)は、史劇を撮影すると、19~22才の5人の女性演技志望者を募集しました。彼女たちは、あらかじめ借りられたスタジオで、上官から鞭で打たれる女のしもべの演技をしなければならず、志願者はふくらはぎを50~70回ほど殴られたのですが、鞭で打たれながら「ご主人さま! 悪うございました。お許しください、ご主人さま!」というせりふを繰り返さなければなりませんでした。チェ氏などは、このような行為で、自分たちの変態性欲を満たしたと

明らかにされています。一方、淫乱中毒になった変態性欲者の邪悪な欲望で、昨年すべての国民の胸を痛めた小学生の殺人事件が忘れられる前に、アンサンでは女子大生が失踪して、また再び恐怖に震えているというニュースが伝えられました。これとともに、愛人問題で噂になったタレント夫婦の不倫による離婚のニュース、こういう文化を当然であるようにさせる最近の映画(マンマ・ミーア、妻が結婚した、スピードスカンダルなど)は、単に笑い流すにはあまりにも誤っている性意識と墮落文化を正当化して、私たちの胸に植えつけているという事実を見逃してはいけません。「...私はもう私を捨てた親を嫌うことはしません...」両親の不倫によって捨てられてしまった少女の告白がなぜか心を痛くします。これが、この時代を生きていくとき、否むことができない私たちの現実なのです。

21世紀、人間に最も怖い病気は/ 精神病、麻薬、淫乱、エイズとガンの時代が来ると言われています。本来、「性」は、神様が最も美しく創造されたのです。神様がアダムにエバをつけてくださった時、アダムは「これは私の骨からの骨。肉からの肉(創世記 2:23)」と告白しました。そして、聖書には「人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥ずかしいと思わなかった(創世記 2:25)」とされています。このように美しく創造された性と家庭文化が、どうして墮落するようになったのでしょうか。聖書の創世記3章を見ると、サタンのうそにだまされて、神様を離れた人間に3つの情欲が起きるようになったと言われています。「肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢(Iヨハネ 2:16)」がそれです。この時から、人間に墮落文化が始まりました。サタンが人間を破壊させるのに最も悪用できる道具として利用しているのが「性」です。サタンは淫乱文化を作って商品化して、文化にして大衆化して、性的墮落を当然のようにさせてしまいました。ソープランドに出入りする経歴が7年目になっている会社職員は、しばしば通ってみたら、自分の合理化の過程を経て「他の人々がみなする文化生活なのに...」と言いながら、自己睡眠の段階に入るようになったと告白しています。2千人の上得意を管理しながら、最近本を出刊したキャバクラ嬢が告白するのに「私たちが訪ねてくる人々は、社会で同じように暮らしている人々で、私が見るには、かわいそうな人々であるだけです」と言いました。結局、サタンの目標は、淫乱の段階をすぎて、個人の人生を壊して、家庭、次世代、社会まで壊すのです。

それなら、サタンの誘惑から抜け出す道はあるのでしょうか。 人間を救うために、この世に来られ、十字架にかけて死なれ、復活されて、サタンの権威をうち破って、すべての罪と運命から人間を解放させて神様に会う道を開かれたイエス・キリスト! その方が、私の人生の主人になる時、はじめて真の自由、真の幸せで満たされるようになるのです。

「罪のうちに歩む者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです」(Iヨハネ 3:8)

重職者伝道企画チーム

ヘレン・ケラーの 最高の後見人 アン・サリバン



ボストンのある児童養護施設にアン(Ann)という少女がいました。

アンの母親は死に、父親はアルコール中毒者でした。父親によって心の傷を抱えている状態で、児童養護施設にいっしょに来た弟まで死んで、アンは衝撃で狂うようになり、失明するまでになりました。アンはいつも自殺を試みて、奇声をあげていました。結局、回復不能だという判定を受けて、精神病棟の地下独房に収容されたのです。

みんなが治療をあきらめた時、年老いた看護師だったローラ(Laura)が、アンを世話すると自ら要望しました。ローラは、精神科の治療よりは、ただアンの友だちになってくれたのです。毎日、お菓子を持って行って、本を読んであげて、お祈りをしました。そのように、愛を注いでいたのですが、アンは塀のように何の話もせず、彼女のために準備された特別な食べ物も食べませんでした。そのようなある日、ローラはアンの前に置かれたチョコレート皿から、チョコレートが一つなくなっているのを発見しました。勇気を得たローラは、ずっと本を読んであげて、お祈りをしました。アンは独房の窓ごしに、少しずつ反応を見せながら、時々、精神が戻った人のように話して、少しずつ話をする回数も増えました。ついに2年後に、アンは正常な人だという判定を受け、パーキング視覚障害学校に入学して、教会に通いながら信仰で明るい笑いを見つけたのです。その後、ローラが死ぬ試練も体験したのですが、アンはローラが残した希望を見ることができ、心の目が開いて、試練を勝ち抜いて、学校を最優等生で卒業しました。また、ある新聞社の助けで、目が見えるようになる手術にも成功しました。手術後のある日、アンは新聞記事を見ました。「見えず、聞けず、話もできない子どもの世話をしてくれる人を求む!」アンは、その子どもに自分が受けた愛を分け与えることを決心しました。人々は、教えられないと言ったのですが、アンは言いました。「私は神様の愛を確信します」結局、彼女は愛で、その子どもを20世紀最大の奇跡の主人公に育てました。その子どもが、まさにヘレン・ケラーで、その先生がアン・サリバンです。アンは、ヘレンと48年間、一緒にいてあげました。ヘレンがハーバード大学に通う時は、ヘレンとすべての授業と一緒にいながら、彼女の手で講義内容を書きました。ヘレンは「私が三日間、見ることができれば(Three days to see)」という文章で、このように告白しました。「はじめの日、私は、親切と謙遜と友情で、私の人生を価値あるようにしてくれたサリバン先生を訪ねて行って、今まで指先で触るだけで分かった彼女の顔を、何時間もぼんやりとながめながら、その姿を私の胸の深くに大事に保管しておきます。(中略)家に戻って、私をこの三日間だけでも見られるようにしてください。さった神様に感謝のお祈りをします...」

21世紀最高の働き 伝道の中の伝道、宣教の中の宣教、働きの中の最高の働き、初代教会の弟子運動の中の弟子運動がまさに後見人です。真の後見人は、ひとりに対する事情と長短所をよく知って、伝道・祈り・みことばフォーラムを通して、神様の重要な計画を伝え、キリストの弟子として立てるのです。それで、重職者は一人の次世代、一地域を責任を負うべき地教会、海外を行き来する使命者、専門担当者1人に仕えて、真の成功者、伝道者になるまで、最高の答えを味わう証人にならなければなりません。ヘレン・ケラーが告白したのは、「視力がない人よりさらにかわいそうな人は、ビジョンがない人だ」ということでした。

独善と唯一性

なぜ、イエスだけを信じなさいと言うのですか。現場で多くの人に会って福音を伝えてみると、しばしば聞く質問の一つです。独善と唯一性の差を、とても簡単に知らせる聖書箇所があります。「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです」(使徒 4:12)この言葉は、ペテロがイエス・キリストの御名で、エルサレム神殿の美しい門の前にいた足のきかない者を立て起こした事件によって、法廷に捕えられて、大祭司と律法学者、長老がイエスの御名で話してはならず、教えてもならないと言った時にした告白です。イエス様自身も自ら「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」(ヨハネ 14:6)とおっしゃいました。他の方法がないということです。なぜでしょうか。この世で神様に会える道がキリストで、人間の運命と運勢から解放される道がキリストで、サタンと地獄の権威から解放される道がキリストなのですが、このキリストがまさにイエス様だからです。隠された傷と罪によって苦しみを受けなければならない過去の問題、私も知らない間に世の中の流れと運命に従って生きなければならない現在の問題、不確かさから来る恐れを抱いて生きなければならない未来の問題の解決策が、まさにイエス・キリストだということです。それで、唯一性ということは、他のことがみな間違っているということではなく、人間が解決できないこの問題を解決した唯一の道で、他の方法がないということなのです。他の道があるのに、あえてイエスを信じなさいといったら、当然、独善になるでしょう。

唯一性を持った人の祝福 聖書は誰も言ってくれなくて、誰も理解できないサタンがもたらす霊的問題を知らせていて、それに対する唯一の解答を語ってくれています。人間を倒したサタンの働きを間違いなく女の子孫として来られたイエス・キリストによって、たたき壊してしまつたと約束しています。このイエス・キリストを信じるその日、神様とともにいる子どもの祝福を味わうのはもちろんのこと、過去・現在・未来のすべての問題が解決されて、絶対に滅びることができない祝福を味わうようになります。私がしている小さい仕事の中で、だれも防げられない唯一の答えがくるようになります。それで、この答えを受けたひとりによって、一つの家と家系が生かされ、国が生かされ、時代が生かされるようになります。イエス様は約束されたのは「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります」(使徒 1:8)ということです。この事実を信じた初代教会の信徒は、自分の身分と水準、位置に合う伝道を味わいながら、世界を生かしました(ローマ 16章)。

最高の信仰生活の鍵-聖霊の満たし 人を生かす真の開始は、聖霊が私と共におられることを味わいながら、聖霊の導きを受けることです。それを持続する鍵が聖霊に満たされることです。まず、一人である時、隠された私の内側で、空いている時間に神様がくださる聖霊に満たされる力を味わわなければなりません。そうすれば、使命が通じて、祈りが通じる人といっしょに祈りながら答えを味わうようになります。この奥義を持った信徒が一つになって地域を生かす地教会を置いて、民族と社会が必要とする教会堂を置いて、次世代のための実際的な絵(RUTC)を抱いて、神様の栄光のために祈る日、聖書で起きた奇跡のみわざが私たちに起きるようになるのです。

毎日毎日の森の泉

12日(月)

最悪の環境と最高の答え

(使徒 1:3,2:43~47)

すべての問題の解決者であるイエス・キリストが私の主人になったら、どんな状況でも最高の答えを受けられます。神様の子どもに約束された祝福と権威を持って祈る時、地の果てまで証人として立てられる証拠を握るようになります。

13日(火)

人生を企画しなさい(使徒 9:10~15)

神様は全てのものを備えておいて私たちを呼ばれました。それで、福音にあって私たちの人生をすばらしく企画して、信仰を持って祈れば、あらゆる事が完成されて行きます。聖霊内住、聖霊の導き、聖霊の満たしを味わって、一歩だけ先んじる時、世界を生かす唯一性の答えを受けるようになります。

14日(水)

ただ聖霊に満たされる道を見出しなさい(使徒 1:8)

人は何で満たされているかによって価値が違うようになります。神様がともにおられる力を持っているれば、どんな状況の中でも一人で生き残れます。ともに聖霊に満たされて一つになる時、奇跡のみわざが起きて、暗やみは崩れるようになります。

15日(木)

理念と思想をどのように越えなければならないのでしょうか(エステル 4:1~14)

理念と思想、地域と国家を越えるようにするのが福音です。神様の子どもは、すべての理念と思想を越えて、すべての人を抱ける人です。私の故郷、私の民族、私の国家も重要ですが、全世界を生かさなければならぬ主役で、伝道者であることを記憶しなければなりません。

16日(金)

人生の転換点を見出した人々

(使徒 16:6~10)

祈りの答えを正しく受けた人々は、神様の主権を信じて、問題と祝福の中でも自身を更新しながら、実際的な考えと人生のうつわを広げて、福音を握って、人生の転換点を作りました。私たちは、福音が薄くなっているこの時代に、完全福音、完全伝道、完全祈りの真の決断を下せば良いのです。

17日(土)

疑うトマスに現れたキリスト

(ヨハネ 20:24~31)

私たちが気をおとして、葛藤して、疑っていても、主は私たちに訪ねてきて叱責されずに、むしろ平安と確信を与えることを願われます。私たちが神様のみことばを握って信仰を告白したら、聖霊の動きを体験して、証拠を握るようになるでしょう。

週間メッセージ

毎日、自分に質問してみましょう

私は何で幸せなのか

私の人生の霊的な現住所はどこなのか

私は未来に対する確信があるのか

聖日 1部 滅びることができない唯一性の人々

(使徒 4:1~12)

聖日 2部 聖霊の満たしの持続(使徒 4:29~31)

Happy
New Year!



イラスト_ユン・スルギ

2009年、丑年の年が明けた。新年を迎えながら、韓国の教授新聞が発表した今年の四字成語は和而不同（和して同ぜず）だ。論語に出てくる言葉で「他人と仲良くするけれど、無条件にいっしょにはしない」という意味だ。

新年には、誰でも希望を込めた願いを抱こうと努めるのだが、どこかで見た、牛になることを願った南京虫のおもしろい話を思い出した。

南京虫、四匹が暮らしていた。彼らは自分たちの体がとても小さいのが、いつも不満だった。そのようなある日、神様がこの南京虫に新年の願いを尋ねた。まず最初の南京虫に尋ねた。「お前の願いは何か」「はい、私は体がとても小さくて、力が弱いです。それで力が強い牛になりたいです」「そうか。それでは牛になれ」とすると、南京虫は願い通り牛になった。二番目の南京虫に尋ねた。「お前は何になりたいのか」「はい、私は空を飛ぶ鳥になりたいです」「そうか。それなら鳥になりなさい」と二番目の南京虫も、願い通り鳥になった。

三番目の南京虫に尋ねた。「お前は何になりたいのか」「はい、私はお腹がすくことが耐えられません。だから、飢えないで、毎日食べ物を見つけられるネズミにならせてください」「そうか。それでは、お前はネズミになりなさい」と三番目の南京虫もやはり願い通りネズミになった。

最後に四番目の南京虫に尋ねた。「お前は何になりたいのか」この時、四番目の南京虫にこっそりと欲が出てきた。「どうせ望むとおり、みな受けたから、思い切り求めよう。」そこで、南京虫はこのように言った。「神様、私は牛のように強く、鳥のように空も飛

んで、ネズミのように飢えることもない、そんなものになりたいです」とすると、神様はにっこりと笑いながらおっしゃられた。「そうか。それでは、お前の願い通り『牛鳥ネズミ』になりなさい」しかし、この世界には「牛鳥ネズミ」という動物がないのために、それで、その名前と最も似ているソーセージになってしまったという話だ。（訳注：韓国語で牛は「ソ」、鳥は「セ」、ネズミは「チ」で、3つをつなげて発音する

と「ソーセージ」となる）

時間は過去から現在を過ぎて未来に流れるのに、過去の苦しみと傷を土台とすることができるのも、心の絵を肯定的に描ける人によってである。現実はまだ来ない時間に行くので、そのまま生きているようだが、神様の恵みで生きている。未来は来ないけれど、結局、祝福を描いた人には、答えで迫ってくるのが明らかだ。神様に願いを申し上げれば聞き入れられるという事実を、南京虫も知っていたので、たとえ「ソーセージ」になったとしても、遠慮せずに申し上げたということは、覚悟を持った人であることで、その時間は生産性があるということだ。

昨年に韓国のみんなを喜ばせ、希望に満ちるようにさせたのは、大人たちでなく、水泳選手のパク・テファンとフィギュア選手のキム・ヨンアであった。結局、青少年だけが、私たちの現実で希望と言えるのだが、2009年はこういう青少年のための RUTC 時代の献身と答えの年だ。今年が牛年と見なされるが、契約を握って、答えを受ける私たちには、1年中ずっと笑いの年になるので、笑いが終わらない、それこそ「ハッピー・ニューイヤー」になるだろう。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

*相談したい方はこちらに連絡してください